

平成21年3月24日

京阪電気鉄道株式会社

淀駅付近立体交差化事業

下り線(大阪方面ゆき)高架橋がまもなく完成します

京阪電気鉄道株式会社(本社:大阪市中央区、社長:上田成之助)では、京都市の都市計画事業として京阪本線淀駅付近の立体交差化工事を進めています。

現在、その二期工事として、下り線(大阪方面行き)高架化のための工事を行っており、今年9月の高架線への切り替えをめざしています。また、3月26日(木)夜半(27日(金)未明)には、駅部のプラットホーム・コンコース通路橋桁の架設を行う予定で、これにより下り線高架のための高架橋がほぼ完成することになります。

今後は、下り線(大阪方面行き)の高架線への切り替えに向け、すでに並行して行っているレールの敷設、建築、電気関連の工事を、これまで同様、安全を第一に進めてまいります。

下り線(大阪方面行き)の高架化が完成すると、新しい淀駅の下り線(大阪方面行き)のりばの供用を開始します。また、同時に、2月にリニューアルされた京都競馬場の入場門「ステーションゲート」と駅の2階部分が直結される予定です。

プラットホーム・コンコース通路橋の架設工事の概要は別紙のとおりです。

(別紙)

プラットホーム・コンコース通路橋桁の架設工事

1. 架設日時 平成21年3月27日(金)午前1時30分～午前2時30分頃
(予定)
2. 場 所 京都市伏見区淀池上町 京阪本線池上踏切道付近
図『ホーム・通路桁 架設位置』参照
3. 構 造 等 鋼製トラス桁、重さ約118t、長さ約23m、高さ約5m、幅約6m
4. 施工方法 隣接する高架上でトラス橋梁を組み立て(現在施工中)
写真『ホーム・通路桁 組立状況(今年2月)』参照
26日(木)夜半に、道路上に550t吊クレーンを設置(夜間道路通行止め)
クレーンを使用し、組み立て位置から所定の位置に一括架設
図『桁架設方法』参照

[参考]

全体工事スケジュール(予定)

- | | |
|---------|---------------------|
| 平成21年9月 | 下り線(大阪行き)高架化 |
| 平成23年5月 | 上り線(京都市行き)高架化、踏切道除却 |
| 平成25年7月 | 工事完了 |

以 上

ホーム・通路桁 架設位置



ホーム・通路桁 組立状況 (今年2月)

構造: 鋼トラス桁
重量: 約108t
長さ: 約23m
高さ: 約5m



桁架設方法

